

D-1

あいさつでつながろう

エピソードを読んで、みなさんの思いや考えを伝え合いましょう。

エピソード

4月から小学生が私の家の前を通過して登校するようになりました。ある日、話し声が近づいてきたので、「おはようございます」と声をかけましたが、子どもたちは不思議そうな顔をして、その場から立ち去ってしまいました。

少し寂しかったのですが、朝の日課のつもりでしばらく続けていると、次第にあいさつが返ってくるようになりました。

今では子どもたちの方から笑顔であいさつをしてくれるようになり、私も「行ってらっしゃい。今日も元気だね。」と声をかけるようになりました。



子どもたちは、どうしてあいさつを返すようになったのでしょうか？



地域の子どもたちへのあいさつについて、考えたことを話し合いましょう。

地域の子どもたちへのあいさつについて、どのような場面でどんな声かけができそうですか？

場面

声かけ



気付いたことや感想を書きましょう。



地域の子どもと関わるには？

地域の大人が、進んであいさつをしましょう

あいさつの一言で、心が通い、相手との距離が縮まります。「おはようございます」「こんにちは」「ただいま」など、子どもたちが進んで気持ちよくあいさつできるように、地域の大人が手本を示しましょう。

あいさつをするとこんなよいことがあります！

- ・気分がよくなったりうれしくなったりする
- ・話しやすくなり、親しくなるきっかけになる
- ・体の調子や機嫌が分かる
- ・地域の犯罪の未然防止にもつながる



あいさつに添える「あったか言葉」

あいさつをする大人が地域が増えると、子どもは大人から見守られ、大切にされているという安心感をもちます。あいさつに添えられる「あったか言葉」は、子どもたちの心を開き、関係性を向上させます。子どもたちに「あったか言葉」をかけてみませんか。

「あったか言葉」の具体例

- 登下校している子どもたちに会ったとき
 - ・「おはようございます」 + 「今日も寒いね（暑いね）。がんばってね。」
 - ・「おはようございます」 + 「いってらしゃい。車に気をつけてね。」
 - ・「こんにちは」 + 「気をつけて帰ってね。」
 - ・「こんにちは」 + 「おかえりなさい。今日もがんばったね。」
- 地域行事で子どもたちに会ったとき
 - ・「こんにちは」 + 「みんな元気だね。今日のイベントは楽しかった？」
 - ・「こんにちは」 + 「今日は来てくれてありがとう。助かるよ。」
 - ・「こんにちは」 + 「みんな仲がいいね。また来てね。」





資料のダウンロードはこちらから→

- テーマ あいさつでつながろう
- 対象 保護者、地域の方
- 時間 45分
- ねらい 子どもたちへのあいさつや言葉がけについて話し合い、地域ぐるみで子どもを育てようとする意欲を高める。
- 準備物 筆記用具、名札（参加者、スタッフ）、ワークシート、時計（ストップウォッチ）、ルールカード（3枚）、アンケート

1 はじめに（2分）



セリフ
1

みなさんは、日頃から「あいさつ」を心がけていますか。「おはようございます」や「こんにちは」と声をかけられると、誰もが温かい気持ちになるのではないのでしょうか。また、あいさつがきっかけで、地域の子どもたちと親しくなったり、子育て家庭の応援につながったりすることもあると思います。今日は、「あいさつでつながろう」をテーマに、子どもたちへのあいさつや言葉がけについて、エピソードを参考に話し合ってみましょう。

2 自己紹介（アイスブレイク）（7分） ※他のアイスブレイクでも可(P78~P79)

セリフ
2

まずはじめに、自己紹介をします。その手順を説明します。近くの人とペアになり、じゃんけんをします。じゃんけんに負けた人から、自分の名前を言ったあと、「実は私、○○なんです」と、自分の意外な一面を紹介しましょう。その後、じゃんけんに勝った人も自己紹介してください。自己紹介が終わったら、「今日はよろしくお願ひします！」とあいさつをして、次の相手を見つけます。時間いっぱい、できるだけ多くの方と自己紹介をしましょう。では、みなさんご起立ください。時間は6分間です。それでは、始めてください。

アイスブレイク 6分



POINT 「実は私…」を付けることで、印象的な自己紹介になります。簡単な例をいくつか紹介しておきましょう。

3 プログラムのルールを説明する。（1分）



セリフ
3

それでは、このプログラムのルールについて確認しておきます。（3つのルールを提示）ルールは3つあります。1つ目は「尊重」です。お互いが発言の時間を守り、他者の発言は最後まで聞きましょう。2つ目は「共感」です。自分とは違った考え方や感じ方が新たな気付きにつながります。批判せず、お互いの感じ方や考え方を認め合ひましょう。3つ目は「守秘」です。みなさんが安心して話し合いができるように、ここで知り得た秘密や情報は持ち帰らないようにしましょう。ルールを守って、よりよい学びと交流を深めましょう。



POINT 3つのルールは、参加者がいつでも確認できるように、会場内に掲示しておきましょう。（上記2次元コードからダウンロード可）

4 エピソードを読んで、思ったことや考えたことを伝え合う。(15分)

セリフ
4

まずはじめにエピソードを読んで、子どもたちは、どうして自分たちからあいさつをするようになったのか、理由を考えて、ワークシートに記入してみましょう。時間は5分間です。

ワークシート記入 5分

セリフ
5

それでは、各グループでワークシートに記入したことを発表してください。発表は1人1分程度で、パスもOKです。質問なども自由に行って構いませんが、時間は8分間です。発表は、誕生日が最も早い人から時計回りをお願いします。

グループ活動 8分

セリフ
6

みなさん、お互いの発表を聞き合って、どのような感想をもちましたか？地域の子どもたちと関わるきっかけにまずはあいさつから始めてみませんか？あいさつを続けているうちに、子どもたちと心が通い、距離が縮まると思います。

5 地域の子どもたちへのあいさつについて、考えたことを話し合う(17分)



セリフ
7

次に、地域の子どもたちへのあいさつについて、どのような場面でどんな声かけができそうか考え、そのアイデアを出し合ってください。では、ワークシートに記入をお願いします。時間は5分間です。

ワークシート記入 5分

POINT 資料「ちょこっと豆情報！」下段の「あいさつに添える『あったか言葉』」を参考にして考えるとよいことを伝えましょう。

セリフ
8

それでは、先ほどと同じように、各グループで発表してください。全員の発表が終わったら、子どもたちへのあいさつについて、自由に話し合ってみましょう。時間は8分間です。

グループ活動 8分

セリフ
9

「なるほど!」と思った言葉がけを考えることはできましたか？それでは、2グループほど、話し合った内容をみなさんに伝えていただきましょう。よろしくお願いします。(発表グループには事前に伝えておく)

全体交流 2分

6 学習のまとめを行う。(3分)

セリフ
10

いかがでしたか。あいさつをしたり、温かい言葉がけをしたりする大人が増えると、子どもは大人から見守られ、大切にされているという安心感をもつようになり、私たち大人もうれしいですね。最後に今日の時間を振り返って、ワークシートに感想をまとめてみましょう。

ワークシート記入 2分

セリフ
11

以上で、終了です。アンケートにご協力いただける方は、提出してからお帰りください。ありがとうございました。